

# サクランボ労力確保

## JAグループ山形 広報懇話会で報告 沖縄などと連携

【山形】JAグループ山形は1日、山形市で報道機関との広報懇話会を開いた。地域・担い手サポートセンターは、人手不足が深刻化しているサクランボ労働力の確保に向け、JAグループ沖縄と連携を進めていることを明らかにした。

JAおきなわとJAふらの(北海道)、JAにしろう(愛媛県)は、2017年からサトウキビ収穫や製糖、スイカの定植やミカンの収穫など、農繁期が重ならない産地間で季節作業員(アルバイト)の雇用をリレーでつないでいる。これに山形も参入する格好だ。

沖縄県で22日、JAグループ沖縄との情報交換会や製糖工場での求職者説明会を開く。

この他、懇話会では日

JA全農山形は「品質、食味値とも良く、品種特性が発揮できたと思っただけに残念。低温、日照不足を繰り返すなど厳しかった気象条件も要因として考えられるが、今後、県と検証し、対応を検討する」とした。